

西諫早地区 社協だより

第21号

令和8年3月15日
西諫早地区社会福祉協議会
会長 竹口 広介
編集責任者 國司 豊
印刷所 旬昭文社印刷



昨年十一月十二日多くの方に出席して頂き、地区社協恒例の「ひとり暮らし高齢者の集い」が開催されました。今年度はコロナ禍後初めてアトラクションを復活、地域の五団体の方たちに盛り上げて頂きました。中でも真城小五年生児童の歌声と手作りカードのプレゼントには、皆さんから「目頭が熱くなった」と感動のお声も頂き、盛会のうちに終了することができました。

令和七年度第二十六回
「ひとり暮らし高齢者の集い」の開催



真城小学校5年生によるリコーダー演奏



健康講話

新会長になって取り組み方が自治会の枠から西諫早地区へと広がることによる新しい出会い・出来事に勉強、精進する気持ちを持って、地域での「支えあい、つながり、交流、語り」をテーマに「安心して暮らせる町」「支えあう地域作り」を目指して、取り組んで参りたいと思います。これからも会員、ボランティアの皆様のご協力のもと新理事を迎えて全スタッフ関係者と共に楽しく、和やかに、気持ち良く協議協働して、社協の運営、活動を進めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



会長 竹口 広介

今期、西諫早地区社会福祉協議会の会長に就任しました竹口でございます。この

一年、「いきいきサロン」や「一人暮らし高齢者の集い」をはじめとした地域での「つながりづくり」等に参加、ご協力、ご尽力を賜りました会員・地域の皆様の活動に感謝申し上げます。

新任会長ご挨拶

西諫早地区社会福祉協議会

ひとり暮らし高齢者の集い

参加者感想

『ひとり暮らし高齢者の集い』に参加して

高橋 陸夫

集いに初めて参加をいたしました。

会場の席は各町内に分かれていて、回りを見渡すと女性が多くて男性は数えるぐらいでした。

最初に社会福祉協議会の理事長さんの挨拶があり終わると、早速講演が始まり午前中はイキシルさん達の健康に関する内容でした。高齢者にとって水分や食事を必ずとり適度な運動を行うこと。認知症などとは上手く付き合いが大切という話でした。

午後は演奏、踊りに、歌と一緒に歌い楽しませて頂きました。又、真城小学校五年生のリコーダー演奏と、参加者全員に手作りの手紙を貰い感激しました。

最後になりますが、本会を企画された方々に感謝すると共に御礼申し上げます。ありがとうございました。



まずひとり暮らしの方がこんなに多いとは驚きました。ひとり暮らしをしていますと人との交流や会話が少なくなりますが、こういう集まりがあると助かります。



五月女 勇



真城小学校五年生

緊張したけれど、みんなが喜んでくれたので頑張って練習して良かったです。拍手をもらえてうれしかったです。

(藤田 羚那)

本番で、初めて失敗しないで出来たので嬉しかったです。みんなの笑顔を見て、この発表をしようと思ったと思いました。

(島田 萌永)

高齢者の方がリズムに乗ってくださり、とてもうれしかったです。これから元気に過ごしてもらいたいです。

(武富 羽那)

演奏が終わってプレゼントを渡したときには、とても喜んでくださって、うれしかったです。がんばって準備してよかったと思いました。

(北口 伊澄)

合唱と演奏をする時は緊張しましたが、高齢者のみなさんが感動して笑顔で拍手をしてくださったのでうれしかったです。

(竹原 幸愛)



健康講座 イキシル

竹口 耕輔

御来場くださった皆様方、私たち任意団体イキシル（イキシル）の講和に足をはこんでいただき、誠にありがとうございました。体の痛みと認知症について関心をお寄せいただき、本当に嬉しかったです。私たちイキシルは「日本の健康と介護課題を希望へ」の理念のもと活動しています。

今後とも何かしらの機会にお関わりできましたら嬉しいです。そしてNCC「スーパーJチャンネル長崎」の撮影へのご協力も本当にありがとうございました。先日の同番組の特集として放送されましたが、見逃された方は是非YouTubeにて「痛みを取って笑も取る」と検索いただければ視聴可能となっております。是非ご覧ください。



福祉協力員研修会に参加して

真崎町 荒金代志子

私は今、福祉協力員として、いきいきサロンと子育てサロンへ参加しています。いきいきサロンでは、年配の方と脳トレをしたり、歌ったり、楽しい時間を過ごしています。そして、子育てサロンでは、小さな子供達との触れ合いができ、自分自身も癒される時間を過ごしています。

八月に行われた福祉協力員研修会では、改めて地域とのつながりの大切さを認識しました。私自身、

福祉協力員に

なると、様々な方と交流ができ、普段の生活でも声を掛けてもらうことが多くなりました。今後も地域の方と共に、楽しい毎日を過ごせるよう活動したいと思っています。



真崎小学校創立150周年記念式典をおえて

実行委員長 山口 洋勝

十一月十六日、真崎小学校創立150周年記念式典を無事に開催することができました。地域の皆様、そして多くの方々温かいご支援とご協力により、この特別な日を迎えることができたことに心より感謝申し上げます。

実行委員長として式典を進める中で、たくさんの方々の力を借り、無事に終えることができたことに安堵しております。校長先生をはじめ、先生方・保護者・実行委員の皆様には心から感謝しております。皆様の支えがあつてこそ、この式典を成功



式典を通じて改めて感じたことは、学校と地域が一体となつて子どもたちを育てることの大切さです。これからの教育には地域とのつながりが欠かせません。「子どもが輝く、地域も輝く真崎小」を目指し、学校と地域が手を携えて、さらに一層の協力を深めていければと思います。皆様と共に、真崎小をさらに魅力的な場所にし、子どもたちが生き生きと学び、地域の笑顔が集まる場所となるよう、今後とも力を合わせていきたいと思います。

最後にになりますが、改めて感謝の気持ちを伝えたいです。皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。そして、真崎小学校が地域と共に歩んでいくためには、皆様のご協力とご支援が不可欠です。地域と一緒に子どもたちの未来を育てていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

真城小学校四十周年を迎えて

諫早市立真城小学校校長 田巻 治之

今年度、本校は、創立四十周年を迎えました。昭和六十一年四月に真城小学校から分離し、諫早市で十五番目の小学校として開校しました。農園をはじめ広い敷地に、子どもたちや地域の皆様のふれあいの場としてつくられた和風建築の洗心館を設置するなど大変恵まれた環境の中、子どもたちはここ真崎の地で、学びをスタートさせました。

当時の児童数は、三百五十五名だったそうです。それから四十年、若干の増減があつたものの、現在が三百四十三名です。ほぼ同じぐらいの児童で推移しています。地域の方々

に支えられ、芋掘り、町探検、福祉体験やおこしづく

りなど多くの体験活動が実施できています。そして、真城小学校の伝統「真城太鼓」。多くの先輩方からの伝統を引き継ぎながら今年も六年生は素晴らしい演奏を披露しました。この伝統は、次の六年生へ引き継がれます。

本校の合言葉「やさしいつばい」「かしこいつばい」「たくましさい」「ぱい」を目指し、これからも地域と共に、未来の夢を実現できる子ども



絆(きずな)と輝継(きづな)

諫早市立真城中学校校長 山内 昇



四月に真城中学校に校長として着任いたしました。素晴らしい子どもたちと保護者の皆さま、そして地域の方々との出会いに感謝しています。

さて、今年度の真城中の学校スローガンは、「輝継(きづな)」です。これは、生徒と教師が協働して考えたものです。とても素敵なスローガンが出来上がりました。そこで、この「輝継」の最終的な姿をイメージしてみました。それは「天の川」です。夜空に輝く星の大河のように、真城中の子

どもたち一人一人が輝き、確かな絆でつながり合い、その輝きが大きな流れとなつて未来に受け継がれていく、それが「輝継」です。

学校での学習や委員会活動などの日々の活動、体育大会や合唱交流会などの行事、さらには、今年度から工業団地の見学という新しい取り組みを行っています。多くの活動を通して、子どもたちが「ふるさと」の未来について真剣に考え、「いさはや」を支え・発展させる人になつてほしいと願いながら、職員一同一丸となつて教育活動を推進しています。ふるさととの未来を担う子どもたちを、地域の皆さまと協力し合つて、大切に育んでいきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

世代間交流

西諫早地区社協では、毎年真城小、真崎小の学童保育と花植え交流を行っています。

わたしは花が大好きです。花をうえてみて楽しかったです。その理由は花うえ活動の人に花のしゅるいやうえかたをおしえてもらったりしたのでとても楽しかったです。またやりたいです。来年はほかの花もうえてみたいです。いっしょにうえた花を園いと思ひます。花うえ活動で学んだことをこれから実行していきます。水やりもがんばります。寒い日がつづきますがなぜをひかないように注意してすごしましよう。本当にありがとうございしました。これからもお仕事がんばってください。

花うえ活動 スポキッズ学童クラブ崎校



NPO法人 学童保育真城

森つばさ

学童で花植えを初めてして、難しかったけどちゃんとできたのでよかったです。

渡辺りょうすけ

花植えはきんちようしたけれど、うまくできました。

増本はな

お花がきれいに咲くといいなと思いました。

牧瀬たまな

難しかったけど、おじいちゃんやおばあちゃんたちと仲良くなれてうれしかった。

中野ゆうな

お花がいろんな色にきれいにさくといいな。

原田かほ

楽しかったし、とてもがんばりました。

中路おうすけ

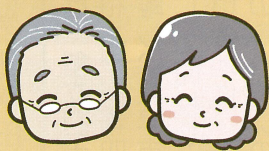
花の苗をポットから抜くのが難しかった。

◆サロン紹介◆

白岩東部ふれあいサロン

白岩東部 本多 尊光

私達のサロンは憩いの場、触れ合いの場、勉強の場、癒しの場として地域住民が助け合い励まし合って活動していこうとの趣旨で開設し十七年になります。活動内容ですが季節に合わせた行事が中心ですが好評なのが三月のおひなさまづくり、五月の鯉幟づくり、十二月の干支づくり等、皆さんが作品づくりに一心不乱に取り組んで完成させています。他にいきいき応援隊によるレクリエーション、体力測定、食生活改善の講話、笑いヨガ等を組み入れ、皆さま方の支援を受けながら良きサロンにして行きたいと思っています。



太陽保育所と地域のかかわり

白岩西部 峯友 清博

太陽保育所が令和七年十月に真崎小学校前の第一公園に新築移転しました。0歳児から年長さんまで約百二十名の幼児が通っており約四十名の職員がいて毎日賑やかに過ごしています。

園舎は二階建てで一階は各クラスの保育室があり、通常はみんな一階で過ごしています。二階は広いお遊戯室(舞台もあり小さな体育館のような感じ)があり、お遊戯会や誕生会等に使用し、また雨天時にも活躍します。馬渡町にあった旧園舎に比べスペースに余裕があり使いやすいと言われていました。

現在真崎小学校区の避難所として真崎小の体育館が指定されていますが、諫早市では令和八年の地域防災計画の中で太陽保育所二階のお遊戯室を避難所として活用することを検討すること。設備として太陽光発電設備、自家発電設備を備えていて、停電時にも必要な電源が確保できるようになっています。

保育所として地域の高齢者クラブや自治会とコラボイベント(交流会や昔遊び教えてもらう等)を計画したいと話され、また西諫早地区社協の「ひとり暮らしの高齢者のつどい」にも要請があれば参加したいとのことでした。



編集後記

前回、カラー版にした「社協だより」大変好評でしたので、今回もカラーになりました読みやすく、親しみやすくなったと思います。